

平成 28 年 10 月 26 日

保護者 各 位

那覇市立識名小学校
校 長 富 田 尚
(公印省略)

ハブの注意について（お知らせ）

秋冷の候、保護者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先週の金曜日の夜、本校の駐車場で、ハブの目撃情報がありました。そこで、ハブの注意についてのお知らせです。沖縄県内には猛毒をもつハブが生息し、年間 100 人前後のハブ咬症患者が発生しております。

見出しのことについて下記の通りお知らせ致します。

記

- 昨年度は、緑の丘のヤシの木周辺で、発見されました。
- 先週は、図書館近くの駐車場で、発見されました。

⇒先週は、発見後に警察にも連絡して対応しましたが、捕獲までは至りませんでした。児童のみの緑の丘へ入ることは禁止しています。また、ハブの捕獲器を設置して、捕獲に向けて、関係機関と協力して取り組んでいます。

- 校内でハブを見つけたり、万一ハブにかまれた場合、至急学校に連絡してください。通常の学校活動時間は、職員に知らせてください。
- 休日や、夜間の場合・・・近くの大人に知らせ、近づかないでください！
ハブを見つけたら 110番
ハブに咬まれたら 119番

*裏面の資料もご覧ください

もし、ハブに咬まれた場合は、落ち着いて次のように対処しましょう。

1. まず、あわてずに、ハブかどうかを確かめます。

ヘビの種類が分からなくても、ハブなら牙のあとが普通2本（1本あるいは3、4本の時もあり）、数分で腫れてきてすごく痛みます。

2. 大声で助けを呼び、すぐに医療機関へ受診しましょう。

走ると毒の回りが早くなるので、車で病院に運んでもらうか、ゆっくり歩いて行くようにしましょう。

3. 病院まで時間がかかる場合は、包帯やネクタイなど、帯状の幅の広い布で、指が1本通る程度にゆるく縛ります。

血の流れを減らす程度にゆるく縛り、15分に1回はゆるめましょう。決して細いヒモなどで強く縛ってはいけません。

恐怖心から強く縛ると血流が止まり、逆効果になることもあります。

ヘビを見つけたら？

おきなわ県に棲んでいる毒ヘビは8種類いますが、
その中で危険なのはハブ、ヒメハブ、サキシマハブ、タイワンハブの4種類です。
多くのヘビは人に害のないものですが、ヘビを見つけたら近よらないで、
近くのおとなに知らせましょう！

那覇市内でよく見かける4種類のヘビ

資料提供：沖縄県衛生環境研究所



ハブ(毒ヘビ) 標準1m30cm

頭の形が三角形で黄色地に黒いかすりもよう。ネズミを食べるので、家の近くにも多い。生まれた時は、約40cmであるが2mくらいまで大きくなり、子ハブでも毒の強さは変わりません。

アカマタ(毒なし) 標準1m30cm

赤と黒のしまもよう。トカゲ、ヘビ、小鳥、哺乳類などを食べる。
※ハブと見まちがうことがある。



ガラスヒバア(よわい毒) 標準80cm

黒地に白い横じまとハン点がある。カエルを食べるので水辺に多い。



リュウキュウアオヘビ(毒なし) 標準80cm

背中は緑色で腹は黄色。ミミズを食べる。
(別名：オーナジャー、アオダイショウ)

